

2. 中心市街地の活性化について（問4～問6）

問4 中心市街地へはどのような目的で行かれましたか。（複数回答：n=2,312）

（1）全体的傾向

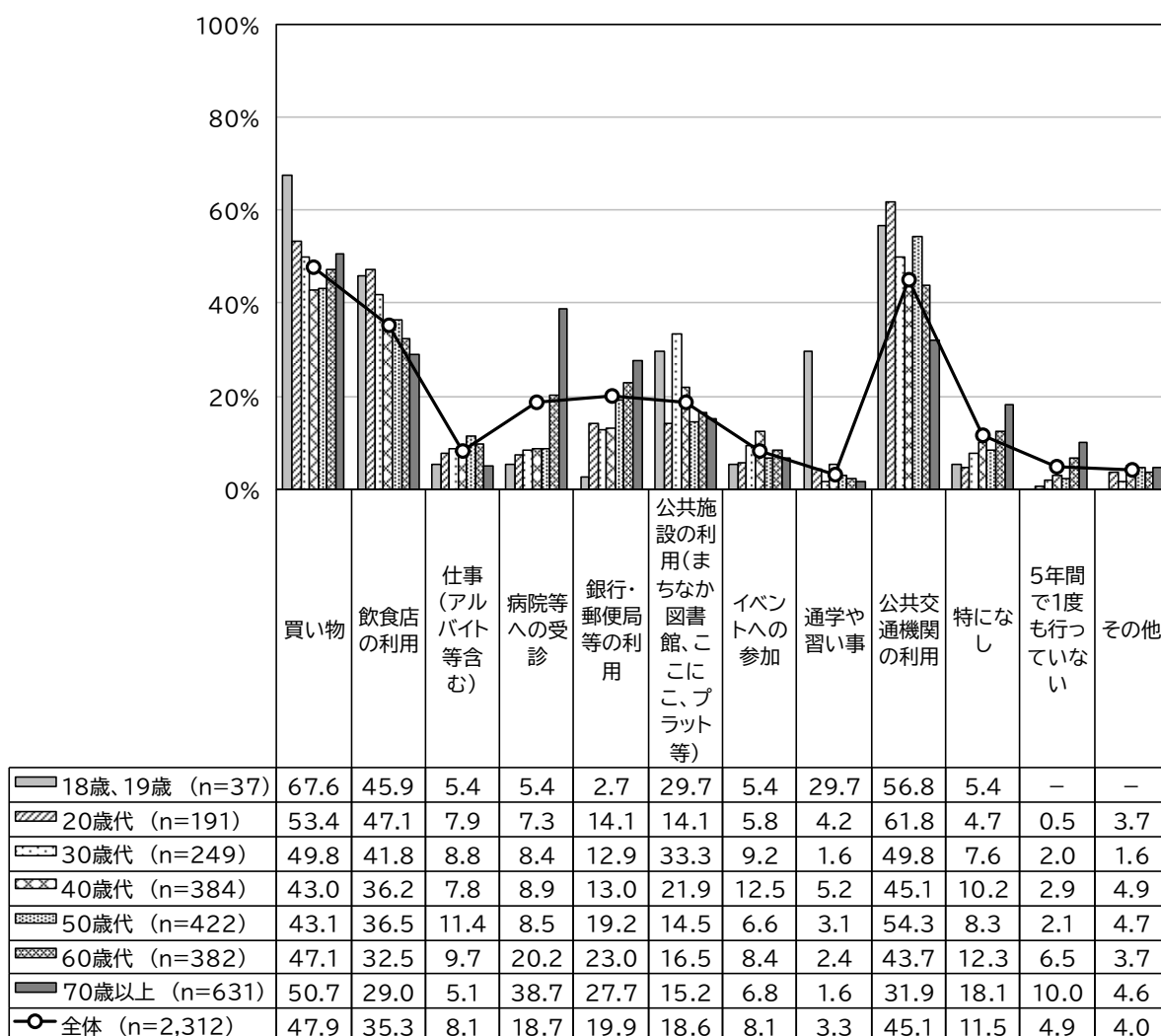
「買い物」と回答した人の割合が47.9%と最も高く、次いで「公共交通機関の利用」（45.1%）、「飲食店の利用」（35.3%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で、「買い物」・「公共交通機関の利用」と回答した人の割合が高く、特に「買い物」と回答した18歳、19歳は、67.6%と他の年代と比べ高くなっている。

また、20歳代から60歳代は、「公共交通機関の利用」と回答した人の割合が43.7%～61.8%と高くなっている。

一方、70歳以上は、「病院等への受診」と回答した人の割合が38.7%と他の年代と比べ高くなっている。



問5 現在の中心市街地は、概ね5年前と比べにぎわいが増していると思いますか。
(n=2,337)

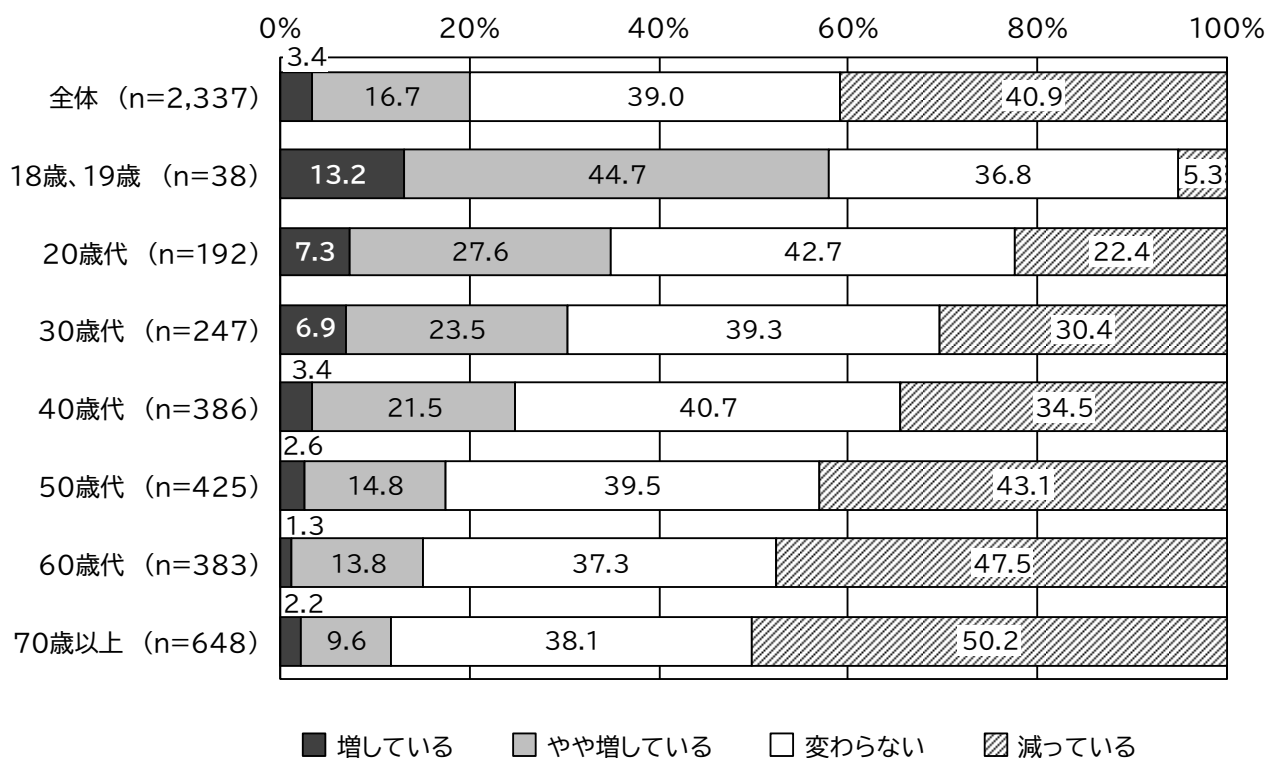
(1) 全体的傾向

「減っている」と回答した人の割合が40.9%と最も高く、次いで「変わらない」(39.0%)、「やや増している」(16.7%)、「増している」(3.4%)となっている。

(2) 年代別にみた特性

「増している」、「やや増している」と回答した人を合わせた割合が、年代が低くなるほど高くなる傾向があり、18歳、19歳は57.9%となっている。

一方、「減っている」と回答した人の割合は、年代が高くなるほど高くなる傾向があり、50歳代以上は、43.1%～50.2%と4割を超えている。



問6 現在の中心市街地をより活性化させるためにどのような取り組みが重要だと思いますか。（複数回答：n=2,375）

（1）全体的傾向

「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が62.8%で最も高く、次いで「自家用車で訪れやすくするサービスの向上」（43.2%）、「空き店舗や駐車場の低未利用地の活用」（39.1%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で、「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が最も高く55.2%～68.8%と5割を超えている。

また、18歳、19歳は、「老朽化した建物の更新」と回答した人の割合が50.0%、70歳以上は、「多世代・多文化が交流できる場づくりの充実」と回答した人の割合が21.1%と他の年代と比べ高くなっている。

